



二荒山神社と宇都宮城は、直線の道でつながっており、このような関係性を持つ立地は他のお城では見られない珍しい城である。

この背景には、宇都宮氏が宇都宮城を政治的な拠点とすると同時に、二荒山神社の神官(神官御家人)として宗教的権威を持ち、下野国(現在の栃木県)の中央から南東部を支配していたことだと考えられる。二荒山神社と宇都宮城が織りなす歴史をたどり、そのつながりが現代の宇都宮にどんな息吹をもたらしているのか、探求してみよう。



令和8年度 歴史講演会 春の陣

# 二荒山神社と宇都宮城

～賑わいの原点を求めて～

講師 橋本 澄朗 氏  
(元栃木県考古学会 会長)

令和  
八年

5月16日(土) 14:45~16:15

参加費

500円(資料代等) ※ 市民の会会員は無料。当日入会も可

定員

先着150名

会場

宇都宮市役所14階 大会議室

申込

住所・氏名(フリガナ)・電話番号(FAX番号)を明記し、5月13日(必着)までに下記連絡先までお申込ください。「宇都宮市電子申請共通システム」による申込も可能です。詳しくは、右下のQRコードから当会HPをご覧ください。

「よみがえれ!宇都宮城」市民の会

住所 宇都宮市旭1-1-5(宇都宮市公園管理課内)  
TEL 028(632)2989  
FAX 028(632)5418  
メール u55002200@city.utsunomiya.tochigi.jp



当会ホームページ

Utsunomiya City 2026



Anniversary